

高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第6週 （2月2日～2月8日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は先週の 37.31 から 23.35 と減少しましたが注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザ A 型 89%、B 型 11%となっており、B 型の割合が前週より増えています。感染力が大変強いので今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は先週の 1.63 から 1.87 と 3 週連続増加し過去 2 年間の同時期と比較して高い値になっています。特に安芸福祉保健所管内では 4.50 と注意報値を超えています。この病気は、高熱・咽頭痛・おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、熱は 3～5 日以内に下がり、1 週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌・全身に発赤が広がる猩紅熱といわれる全身症状を呈します。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くあります。うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

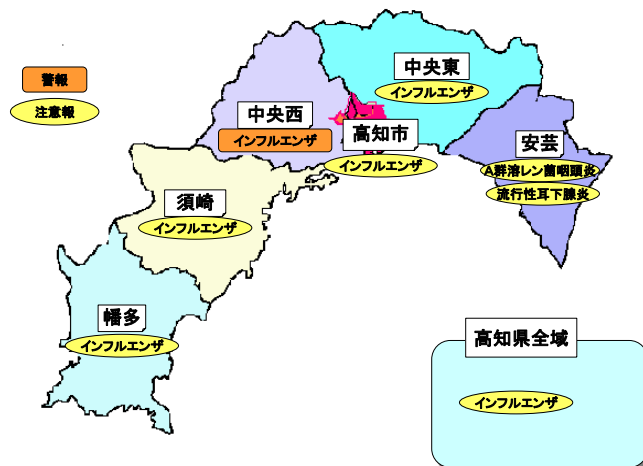
★県内での感染症発生状況

定点把握感染症 （上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	23.35	全ての地域で減少しています。中央西で警報値を、中央東、高知市、幡多、須崎で注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	6.40	幡多で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.87	安芸、高知市、中央西、中央東で増加し、安芸では注意報値を超えています。
RS ウイルス感染症	→	1.17	須崎、高知市、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎	↘	0.63	幡多で増加し、安芸では注意報値を超えています。

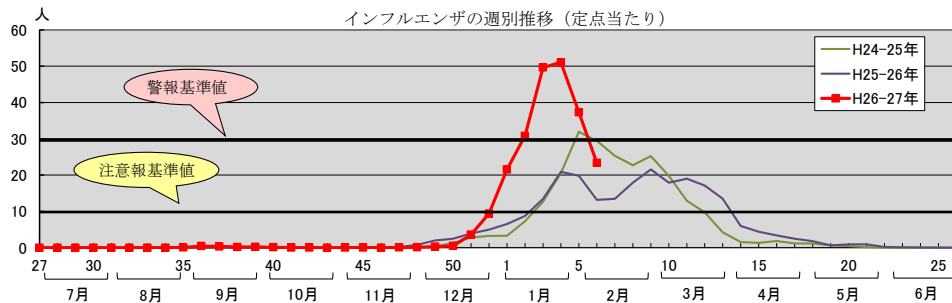
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

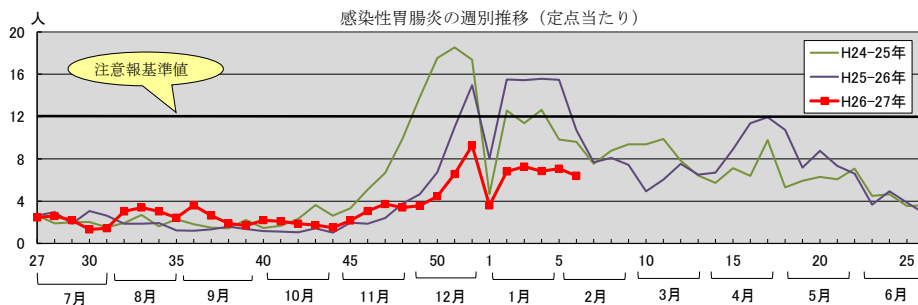
○インフルエンザ： **23.35** （注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 23.35（前週：37.31）と減少しましたが注意報値を超えています。地域別にみると、中央西（39.00：前週 60.40）では警報値を、中央東（25.73：前週 35.64）高知市（25.19：前週 37.69）幡多（18.50：前週 39.50）須崎（15.75：前週 26.25）では注意報値を超えています。病原体定点からは Influenza virus AH3 NT が 6 例検出されています。



○感染性胃腸炎： **6.40** （注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 6.40（前週：7.07）と横ばいです。地域別にみると、幡多（7.60：前週 4.80）で増加しています。病原体定点からは Norovirus G II NT が 3 例、Sapovirus genogroup unknown が 1 例検出されています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
6	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Astrovirus NT
6	インフルエンザ	4	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
6	インフルエンザ	5	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
6	クルーズ症候群、インフルエンザ	10	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
6	インフルエンザ脳症	4	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
6	インフルエンザ	32	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
6	インフルエンザ	3	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
6	感染性胃腸炎	7	男	中央東	Norovirus GII NT
6	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
6	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Norovirus GII NT
6	感染性胃腸炎	5ヶ月	男	須崎	Sapovirus genogroup unknown
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	男	須崎	Streptococcus pyogenes T12

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	7	18	80歳代（男）90歳代（女）	安芸
				60歳代（女）	中央東
				40、60歳代（男）	高知市
				50歳代（女）	中央西
				80歳代（男）	幡多
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	3	90歳代（女）	高知市
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	60歳代（女）	
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	4	80歳代（男）	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (15歳女)
中央東	あけぼの小児クリニック	インフルエンザ A型 40例、B型 2例 RSウイルス感染症 3例 (0歳2人、1歳1人)
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A型 15例 (2ヶ月～14歳) インフルエンザ B型 2例 (6、8歳) RSウイルス感染症 2例 (2、3歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A型 3例 (5、8歳男、5歳女：内1例ワクチン未接種)
高知市	高知医療センター	ヒトメタニューモウイルス 1例 (2歳女)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2例 (1歳男2人)
	細木病院小児科	ノロウイルス 2例 (1、4歳男) ロタウイルス 2例 (4歳男、11ヶ月女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A型 22例 B型 5例 (内ワクチン接種済み3例) RSウイルス感染症 1例 (2歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A型 28例、B型 22例
	石黒小児科	帯状疱疹 2例 (3、13歳男)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ減少傾向となる
幡多	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス 2例 (8ヶ月、1歳男)

★全国情報

第4週 (1/19～1/25)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核346例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症12例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎6例、つつが虫病2例、デング熱1例、レジオネラ症20例

5類感染症：アメーバ赤痢22例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎6例

クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、梅毒21例

後天性免疫不全症候群7例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、

侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症39例、水痘 (入院例に限る) 2例、

破傷風5例年、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例、

薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

報告遅れ：E型肝炎1例、エキノコックス症1例、デング熱1例、急性脳炎7例、

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、

水痘 (入院例に限る) 2例、播種性クリプトコックス症2例

★インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられる。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等から発生する飛沫による感染 (飛沫感染) であり、他に飛沫が付着した手指等を介した接触感染もある。感染後、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。いわゆる「通常感冒」と比べて全身症状が強いことが特徴である。

2014/2015年シーズンのインフルエンザは、2014年第42週以降増加が続いていたが、2015年第1週には一旦減少した。以後は再び増加し、第4週 (2015年1月19～25日：2015年1月28日現在) では定点当たり報告数が39.42となった。2014年第52週は全国的に幅広い年齢層で流行していたが、2015年第1週に15歳未満の年齢層の報告数が一旦減少し、第1週以降は第4週まで15歳未満が大きく増加した。一方、15歳以上の年齢層は第2週または第3週をピークに第4週に至るまで減少し、この結果、第4週の15歳未満の年齢層の報告数は71%を占めた。定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を受診した患者数を推計すると、第4週は約192万人 (95%信頼区間：179～205万人) となり、第2週 (約206万人) や第3週 (約201万人) の推計値よりも減少した。年齢群ごとの推計患者数としては、第2週に全年齢群で増加が認められ、その後15歳未満の年齢層

のみ継続して増加した。基幹定点からのインフルエンザによる入院患者数は2014年第52週から増加傾向であったが、2015年第4週（1,644例）は前週（1,797例）より減少した。このうち60代以上の年齢層は、第52週（382例）から第2週（1,163例）にかけて増加し、継続して入院患者数の半数以上を占めたが、第4週（1,053例）は前週（1,180例）より減少した。同様に、15歳から60歳未満の年齢層も第4週（121例）では前週（176例）より減少した。一方、15歳未満の年齢層は第52週（268例）から第4週（470例）まで増加し続けた。これらの推計患者数および入院患者数の減少傾向と定点報告数の増加傾向との乖離は、インフルエンザの定点医療機関の約6割が小児科であること、推計患者数は定点以外を含む全国の医療機関を反映していること、および、入院報告数は主に小児と高齢者の重症患者を反映することによると考えられる。

2015年第4週の定点当たり報告数は、31都道府県で前週の報告数よりも増加し16府県で減少した。国内のインフルエンザの定点当たり報告数をみると、2014年第52週までに東日本から西日本へ移りつつあった流行は、第2週には全国に拡大した。第4週の定点当たり報告数では、宮崎県（86.05）、鹿児島県（78.59）、山口県（75.12）、熊本県（71.68）、大分県（71.57）の順となり、流行の中心は西日本となった。

直近の5週間（2014年第52週～2015年第4週）では依然としてAH3亜型の検出割合が最も多く（約97%）、次いでB型、AH1pdm09の順となっている。

2015年第4週現在、2014/2015年シーズンは若年層を中心とした流行が依然として続いており、インフルエンザの感染対策を引き続き行っていく必要がある。また、今季はAH3亜型の検出割合が継続して高いが、流行地域の拡大や流行しているインフルエンザウイルス亜型の動向が変化する事も有り、発生動向には注意が必要である。インフルエンザの感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット（有症者自身がマスクをしたり、咳をする際にはティッシュやハンカチで口を覆ったりする等の対応を行うこと）、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生といった対策を徹底することが重要である。高齢者等の高危険群に属する者が多く入所している施設における感染事例が複数報告されていること等から、施設内における感染予防の観点から、入所者や職員が個人で出来る前述の感染対策を徹底すると同時に、訪問者等においては、施設へのウイルスの持ち込みを防ぐために、インフルエンザの症状が認められる場合、施設を訪問することを控えることが重要である。なお、65歳以上の高齢者、又は60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方は予防接種法上の定期接種の対象となっている。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第6週 平成27年2月2日(月)～平成27年2月8日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第6週						計	前週	全国(5週)	高知県(6週末累計)		全国(5週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H26/12/29～H27/2/8	H26/12/29～H27/2/1		
インフルエンザ	インフルエンザ		29	283	403	195	63	148	1,121 (23.35)	1,791 (37.31)	144,063 (29.11)	10,260 (213.75)	788,833 (161.22)		
小児科	咽頭結膜熱			1	1			1	3 (0.10)	2 (0.07)	820 (0.26)	13 (0.43)	4,363 (1.40)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	2	29	7	2	7	56 (1.87)	49 (1.63)	7,724 (2.44)	257 (8.57)	28,863 (9.26)		
	感染性胃腸炎		14	37	70	22	11	38	192 (6.40)	212 (7.07)	23,870 (7.55)	1,139 (37.97)	109,000 (34.97)		
	水痘			2	3	3			8 (0.27)	9 (0.30)	1,399 (0.44)	72 (2.40)	10,093 (3.24)		
	手足口病			5	9			1	18 (0.60)	34 (1.13)	1,077 (0.34)	124 (4.13)	4,029 (1.29)		
	伝染性紅斑				1				1 (0.03)	()	1,235 (0.39)	4 (0.13)	5,694 (1.83)		
	突発性発疹		1	1	4			1	11 (0.37)	8 (0.27)	1,300 (0.41)	68 (2.27)	5,752 (1.85)		
	百日咳								()	1 (0.03)	38 (0.01)	3 (0.10)	120 (0.04)		
	ヘルパンギーナ				1				1 (0.03)	()	51 (0.02)	1 (0.03)	277 (0.09)		
	流行性耳下腺炎		6	1	4				8	19 (0.63)	24 (0.80)	962 (0.30)	91 (3.03)	4,263 (1.37)	
RSウイルス感染症		2	9	16	2	5	1	35 (1.17)	33 (1.10)	2,240 (0.71)	209 (6.97)	12,669 (4.06)			
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	13 (0.02)	()	50 (0.07)		
	流行性角結膜炎								()	1 (0.33)	270 (0.39)	1 (0.33)	1,521 (2.24)		
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	10 (0.02)	()	41 (0.09)		
	無菌性髄膜炎								()	()	17 (0.04)	()	59 (0.13)		
	マイコプラズマ肺炎			1					1 (0.13)	3 (0.38)	102 (0.22)	19 (2.38)	536 (1.14)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	4 (0.01)	1 (0.13)	18 (0.04)		
	感染性胃腸炎			2					2 (0.25)	4 (0.50)	70 (0.15)	7 (0.88)	277 (0.59)		
計 (小児科定点当たり人数)		61 (23.25)	341 (34.02)	544 (37.72)	229 (50.33)	86 (27.25)	207 (30.30)	1,468 (34.82)			185,265	12,269 (279.78)	976,458		
前週 (小児科定点当たり人数)		112 (37.75)	465 (45.92)	754 (50.88)	341 (73.40)	128 (37.75)	371 (50.30)		2,167 (49.71)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第6週						計	前週	全国(5週)	高知県(6週末累計)		全国(5週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H26/12/29～H27/2/8	H26/12/29～H27/2/1		
インフルエンザ	インフルエンザ		7.25	25.73	25.19	39.00	15.75	18.50	23.35	37.31	29.11	213.75	161.22		
小児科	咽頭結膜熱			0.14	0.09			0.50	0.10	0.07	0.26	0.43	1.40		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4.50	0.29	2.64	2.33	1.00	1.40	1.87	1.63	2.44	8.57	9.26		
	感染性胃腸炎		7.00	5.29	6.36	7.33	5.50	7.60	6.40	7.07	7.55	37.97	34.97		
	水痘			0.29	0.27	1.00			0.27	0.30	0.44	2.40	3.24		
	手足口病			0.71	0.82			1.50	0.60	1.13	0.34	4.13	1.29		
	伝染性紅斑					0.09			0.03		0.39	0.13	1.83		
	突発性発疹		0.50	0.14	0.36		0.50	0.80	0.37	0.27	0.41	2.27	1.85		
	百日咳									0.03	0.01	0.10	0.04		
	ヘルパンギーナ				0.09				0.03		0.02	0.03	0.09		
	流行性耳下腺炎		3.00	0.14	0.36			1.60	0.63	0.80	0.30	3.03	1.37		
RSウイルス感染症		1.00	1.29	1.45	0.67	2.50	0.20	1.17	1.10	0.71	6.97	4.06			
眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.07		
	流行性角結膜炎									0.33	0.39	0.33	2.24		
基幹	細菌性髄膜炎										0.02		0.09		
	無菌性髄膜炎										0.04		0.13		
	マイコプラズマ肺炎				0.20				0.13	0.38	0.22	2.38	1.14		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	0.13	0.04		
	感染性胃腸炎				0.40				0.25	0.50	0.15	0.88	0.59		
計 (小児科定点当たり人数)		23.25	34.02	37.72	50.33	27.25	30.30	34.82				279.78			
前週 (小児科定点当たり人数)		37.75	45.92	50.88	73.40	37.75	50.30		49.71						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869